

<採用 4件>

提案No.	提案	提案課	提案内容	審査結果	今後の対応・各課への依頼	
1	5	市施設所在地の案内方法について	会計課	庁舎敷地内にある施設所在地をたずねられることが多いため、ロビーや窓口に配置図を置くことで、市民に伝えやすくなる。	案内図を掲示及び窓口に配置することで、説明が伝わりやすくなる。	総務管財課に依頼し、案内図の掲示及び窓口への配置をします。
2	8	市の施設への公共交通機関を利用した共通案内図を作成する	企画課	市のイベント案内のチラシ等に掲載する実施場所の案内図について、共有情報に掲載することで、事務処理を軽減できる。また統一感が図られる。	各課で作成済みのものを募集し、共有情報の便利BOXへ掲載することで、全職員が活用でき事務の軽減になる。	本庁舎及び各施設の案内図を行政管理課で収集し、共有情報の便利BOXに掲載します。
3	10	洋式トイレの表示について	行政管理課	洋式トイレの場所が入り口から入って一見して分からないので、表示することで市民の利便性を高める。また、洋式トイレへの改修を行う際には、入り口から近いところに設置する。	・ドア付近への表示については、実現可能。 ・位置の見直しについては大規模改修時に検討を行う。	総務管財課に表示を依頼します。
4	13	「コミュニティゾーンに視線を」～市民課前の椅子の向き変更～と全体的な視覚の再点検	秘書広報課	市民課窓口の椅子を受付番号案内モニターやコミュニティビジョンが見やすい方向に配置することにより、市民の利便性の向上及び行政情報の放映効果を高める。	・可能な範囲で対応することはできる。 ・今後、マイナンバーの導入に伴う市民課窓口のレイアウト変更時に検証が可能。	総務管財課において、市民課窓口のレイアウト変更時に受付番号案内モニターやコミュニティビジョンへの視線を配慮に入れた検討をお願いいたします。

<不採用 14件>

提案No.	提案	提案課	提案内容	審査結果	今後の対応・各課への依頼	
1	1	自転車の賠償責任保険の一括加入	健康課	庁用自転車すべてが賠償責任保険に加入し、危機管理に備える。	市が加入している全国市長会市民総合賠償保険の対象になる。	全国市長会市民総合賠償保険の適用範囲等については、総務管財課から全庁に周知します。
2	2	市からの情報を一括して送信できる登録制メールサービスの構築について	防災安全課	市民への情報伝達手段として、秘書広報課のメルマガやツイッターがある。一方、防災安全課でもメールサービスを行っている。市民は、それぞれの媒体に登録しなければならない。市からの情報発信を一括で行えるようにし、市民が受け取る情報を選べるようにする。	・具体的な効果が見えない。 ・現在は市民が情報を選んで登録しており、希望しない情報が多いと真に必要な情報が薄まる。	防災安全課のメールに限らず、その他のメルマガ、ツイッター等の情報伝達手段でも、災害時等の緊急な情報発信ができるよう体制の整備をお願いします。
3	3	来庁者の庁舎内案内について	課税課	目的の窓口が分からない市民のために、床面に誘導のテープを貼って入り口から窓口まで案内する。	・実情として、課の場所が分からない人より、何課に行けばよいのか分からない人が多い。 ・導入した市によると高齢者には利用しづらく効果が上がっていない。 ・フロアマネージャーの対応及び、職員が積極的に声掛けをするほうが親切ではないか。	窓口を探している様子の市民には「どちらに御用ですか。」などと積極的に声掛けをして、ご案内をお願いします。
4	4	庁舎内の案内表示について	議会事務局	パーティションを設置することにより、執務スペースが見えなくなり、業務に集中できる。また、個人情報が見えなくなる。	・オープンフロアを原則としていることから、ローパーテーションなら対応可能である。 ・窓口から職員から見えないようにすると職員からもお客様が見えなくなり、常に窓口対応をする職員の配置が必要となる。 ・個人情報に対する配慮として、子育て支援課では簡易な仕切りを机上に設置しており、参考となる。	個人情報を取り扱う課においては、窓口から、個人情報が見えないよう配慮をお願いします。
6	7	包括委託契約について	企画課	複数課にまたがる同種の契約については、包括委託契約の手法をとることにより、事務効率を向上させる。	・可能な範囲で部分的には実施している。 ・包括的に行うことで経費は下がるが、市内業者の参入が困難となるケースがある。地域の産業振興への影響も考慮しなければならない。	委託する業務については、包括的な委託契約が可能かどうかの検討をお願いします。
7	9	市所有の植栽の管理方法の検討	企画課	①公共施設の植栽を広告スペースとして活用することによる歳入確保。 ②維持管理を希望するボランティアに依頼することにより、市民協働の一例となる。	・植栽スペースに広告を掲示することについては、東京都屋外広告物条例での制限があり、禁止されている。 ・アドプト制度については、何のためにするのかという意義付けができていないと協力は得られない。各課で可能なものを検討していく。	②については、各課で可能な取組みについて検討をお願いします。

提案No.	提案	提案課	提案内容	審査結果	今後の対応・各課への依頼
8	11 広報掲示板に避難場所表示	子育て支援課	広報掲示板に「避難場所」及び「虐待通報ダイヤル189」の表示をすることにより、虐待防止、災害時の避難の一助となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テプラは劣化する。 ・避難場所については、他に表示している。 ・「189」の普及は、広報掲示板等へのポスターの掲示で対応したほうが効果的ではないか。 	「虐待通報ダイヤル189」については、子育て支援課において、広報掲示板の利用等、周知の方法について、検討をお願いします。また、他課においても連携して実施できる周知方法がありましたら子ども家庭支援センターへ連絡をお願いします。
9	12 「こちらどうぞ！」～図書貸出時における市主催事業のおススメ(ご案内)～	秘書広報課	貸出し履歴などから興味のある情報を把握し、図書貸出しの際、催し等の案内を行うことで、PR効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの問題があり、個人に関する貸出し傾向を把握していない。 ・図書館職員への負担が大きいため、実現困難。 ・市民が情報を選べるほうが良い。 	
10	14 「いつ取りに行こうかな」～ネット予約した図書「お知らせメール」に開館日表示を～	秘書広報課	HPで本を予約した場合、貸出し準備が整うとメールが送信される。その際、開館日時等の情報を追加することで、親切な対応となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・省力化のためにシステムを活用してメールを自動送信しているため、細かい対応をすることは困難。 	
11	15 市発行チラシ等への「市のお知らせ情報掲載枠」の検討	秘書広報課	各課で発行するチラシの下段に帯記事のような掲載枠を取り、行政情報を掲載する。情報提供の媒体を増やすことができる。また、各課で連携することで、職員がPR意識を持てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をタイムリーにチラシ等に載せていくためのしゅみが必要。 ・市報には多くの情報があるが、特定の情報が掲載されているチラシに他の課の情報が掲載されていることは違和感があるのではないか。 	他課と連携して周知することで、効果が上がるものもあるかもしれません。予定表【全庁行事イベント】の情報から、連携の可能性を考えてみることも一つの方法だと思います。
12	16 辞令交付および異動挨拶の省略	秘書広報課	辞令交付対象者が多数の場合、4階通路に長蛇の列ができ見苦しく、私語が多いため窓口での対応に支障がある。そこで、辞令交付の対象を退職者と管理職のみとし、一般職は庁内メールでの通知とする。また、新規採用者は別室にて辞令交付を行う。これにより、対象者が少数となる。また、辞令日の朝から新部署での業務ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事務改善にそぐわない。 ・会議棟に移すことは検討できる。 ・理事者が判断する内容である。 	
13	17 時差出勤制度の導入	納税課	時差出勤として、1時間前倒しの就業を1か月単位で申請する。窓口業務に支障がある課においては、予め人数を調整し、支障の無い体制を職整える。これにより、 <ul style="list-style-type: none"> ・東大和市の「仕事と生活の調和」の取り組みがPRできる。 ・業務に集中でき、超過勤務の抑制につながる。 ・ワーク・ライフ・バランス ・帰庁後の購買・消費意欲が高まり。地域経済の活性化につながる。 ・将来的には、1時間後に出勤することも検討できる。 ・出勤時の交通機関混雑回避 	<ul style="list-style-type: none"> ・課によって状況が違い、不公平感が出る。 ・審査委員会で判断できる内容ではない。 	
14	18 再利用用紙回収ボックスの設置	環境課	各課では再利用用紙を回収かごに集めている。再利用する用紙が出るたびに置きに行くため、まとめて持って行きたい。以前設置されていた再利用用紙回収ボックスを全職員に再度配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・回収ボックスは、紙のリサイクルを啓発する目的で配布したもの。現在はリサイクル意識が定着しており、目的は達成している。 ・回収ボックスが無くても、使用済みの封筒を利用するなどして、個々で工夫をしている。 	